

# りんりんデイ

このコーナーは、  
そらレター担当：菅野の妹（通称まりりん）のお話です♪

まりりんは、9つ離れていて知的障害がある。我が家は、いとこと叔母も住んでいる。叔母から、「これはお母さんにね。」と言われ、チョコレートを2個もらった。しかし、まりりんは、母に1つ渡し、自分の手元に1つ持っていた。叔母は、母の次にまりりんにも2つあげるつもりだったようで、「まりりんのはこっちだから、先にお母さんにあげてね。」と伝えた。すると、納得して手にしていたチョコレートを母に渡してくれた。家では、いつも自分が一番先のため、「自分ほもらえない」と思ったようだ。成長して賢くなっている分、ずるい部分も出てきている。学校や放デイでは、以前話したように、お姉さんであるため、自分が後だと理解している。その反動で、家ではやりたい放題のわがまま娘なのかもしれない。これからは、「いくら家でも、何でも自分が1番ではない。わがままはいつも通るわけではない。」と言うことを、伝えていかなければいけないと母と話し合った。

それにしても、最近、ビデオ通話をしても全く反応してくれない。ビデオ通話の私より、隣に置いた、いとこのスマホで観るアンパンマンらしい。寂しい。これも成長の証なのか…と、しみじみ感じている。私の中では、一緒に暮らしていた小学3年生で止まっているため、会うたび感じる成長した姿に、正直今でも気持ちが追い付かない。まりりんも、私はたまに会う人という存在に化しているのだろう。ああ、寂しい。悲しい…。ビデオ通話で、「これが現実か」と突きつけられている…。

どれが本物？？



マスクマ

## SUMMER VACATION —オフショット集—



マイブームは  
洗濯機のぐるぐる



人間ツムツムだ！



寸劇準備中～



鼻洗濯バサミ  
に挑戦中…



ツイスターゲー  
ム対決！！



★金メダルゲット！





# 夏休み写真日記



## “そら” に向かって…

## ～はじめての夏休み～



3月までは、18歳以上の方の就労支援「ピース」で働かせていただいていたのですが、4月からそらにお世話になり、もう5か月が過ぎようとしています。

ピースで、はじめは泣いていた方が、作業をできるようになっていく姿を思い浮かべると、一般的にも学生から社会人へと環境が変わり、仕事を教わって悩みながらも身に付いていくんだなあと感じました。そして、今、目の前の子どもたちの先も想像してみると、ついつい大人がやってしまった方が早いことも、「自分でできた」と思えることを増やせるように少しずつ考えていきたいと思います。

高橋 榮子



## 夏の思い出

## ～はじめての夏休



私の初めての児童デイサービスの夏休みを経験させていただいた感想としては、とにかく子どもたちのパワフルさ、元気さに終始圧倒されていた1ヵ月でした。また、自分の力不足を感じた1ヵ月でもりました。

追いかけて歌を歌ったりして、みんなが笑顔になれることが嬉しく、私も楽しく元気ももらってばかりでした。その反面、みんなをまとめる力、楽しいことだけではなく、みんなの成長を見据えた関り、イベントの計画等、力不足を常々痛感しました。楽しくすることだけでなく、みんなの成長を考えた支援ができるように、これからも学んでいこうと思います。よろしくお祈いします！

伊藤 涼